

無所属

鉄道高架事業の代替案の検討は

梅沢 弘



問 鉄道高架事業について、①現在の社会経済状況を踏まえ、事業の代替案を検討する考えは。②計画当初と現在では市民の価値観に違いがあると考えるが市長の認識は。

答 市長／①鉄道高架事業をはじめとした沼津駅周辺総合整備事業により、駅周辺の交通環境が改善されることで、港などの観光資源へのアクセスが良くなり、交流人口の拡大が期待できるほか、中心市街地においては、高架下を整備することで、南北市街地が一体化され、回遊性が向上する。また、鉄道跡地を活用して、市民が求める多様な都市機能を集積することで、利便性が高く、効果的なまちづくりが可能となる。さらに、踏切事故や大雨による道路冠水が解消されるほか、土地区画整理事業により、良好な宅地が創出されるとともに、延焼防止や緊急車両の通行がスムーズになるなど、安全・安心な市街地が形成される。このような都市環境を実現する本事業は、持続可能な本市のまちづくりに必要不可欠であり、代替案は考えていない。②第五次沼津市総合計画の策定に当たり市民に実施したアンケートにおいて、中心市街地を再編し、魅力と活力ある都市を求める意向が示されており、沼津駅周辺の交通環境を

劇的に改善し、中心市街地の活性化と魅力の向上を図る本事業と、それに対する市民の価値観は、これまでと同様に変わらないものと認識している。また、本事業の推進により、駅周辺の公共空間へ、ヒト中心で都市的魅力にあふれる空間へ再編することが可能となることから、中心市街地まちづくり戦略に掲げる様々な取組を進めるとともに、沼津版スマートシティであるX-Tech NUMAZU等の最先端の考え方を取り入れたまちづくりを進めているところであり、決して三十三年前の事業のままではないものと考えている。

劇的に改善し、中心市街地の活性化と魅力の向上を図る本事業と、それに対する市民の価値観は、これまでと同様に変わらないものと認識している。また、本事業の推進により、駅周辺の公共空間へ、ヒト中心で都市的魅力にあふれる空間へ再編することが可能となることから、中心市街地まちづくり戦略に掲げる様々な取組を進めるとともに、沼津版スマートシティであるX-Tech NUMAZU等の最先端の考え方を取り入れたまちづくりを進めているところであり、決して三十三年前の事業のままではないものと考えている。



▲高架後の沼津駅コンコースのイメージ

議会ICT推進 × 新型コロナ対策

～民生病院委員会の行政視察をオンラインで実施～

コロナ禍における新たな取組として、令和4年1月20日、民生病院委員会が沼津市議会として初めて、オンライン方式による行政視察を実施しました。

ウェブ会議システムのZoomを活用し、午前中は福井県坂井市と、午後は愛知県豊田市と本市をオンラインでつなぎ、令和3年度の特定調査事項のテーマである「福祉問題の多様化に対する包括的支援体制の構築」について、先進都市である両市の取組の説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

今回、初めてオンラインによる行政視察を行い、出席した委員からは「現場でしか学べない事も多いが、オンラインでも、先進都市における施策やアイデアなどを担当者から聞くことができ、本市の課題解決のヒントを得ることができた。」「全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、移動等を伴わないオンライン視察は効率的かつ効果的である。」などの意見がありました。

市議会では、引き続き、コロナ禍における議会運営や議会活動について、取組を進めていきます。



▲オンライン視察の様子
(沼津市役所委員会室にて)



▲豊田市福祉総合相談課より説明を受ける委員

お知らせ



令和3年第11回定例会における山下富美子議員の発言に対する懲罰特別委員会の会議記録等については、沼津市議会ホームページを御覧ください。

